

新人大会・総文祭で武高生の活躍続く。

文責 学校長

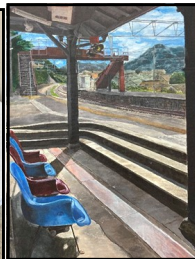


～期末考査まであと10日となりました。計画的な学習を。～

2学期の期末考査(24日～29日)まであと10日となりました。計画的な学習で考査に備えましょう。中間考査で思うような結果が残せなかった人、残念ながら欠点を取ってしまった人、リベンジを果たす時です。また、課題の提出や授業態度も成績に反映されますので、日々の課題・授業にも真剣な取り組みを。

1 美術部・書道部が県総文祭で上位入賞し、全国・九州総文出場へ。

県総文祭の結果の続報です。美術・工芸展において立体・彫刻・工芸部門で古賀智士くん(2-2)が特選、絵画部門で松熊ゆりなさん(1-4)が準特選に輝きました。古賀くんは来年の全国総文祭の候補に、松熊さんは九州総文祭の候補に選ばれました。また、絵画部門で杉本柁馬くん(2-6)が準特選、貴志晴香さん(2-6)が佳作、高橋七美さん(1-1)が入選、デザイン部門で山北青空さん(1-6)が準特選、山口小桃さん(1-3)、西川葵さん(3-5)が佳作に、その他・映像部門で淵上廣巨くん(2-3)が準特選に、輝きました。また、書道展において、織田咲来さん(2-3)が奨励賞に輝きました。



2 弓道部女子、優勝し全国選抜大会へ。バドミントン部男子、県新人戦で第3位に。

12日(土)・13日(日)に行われた全国高等学校弓道選抜大会佐賀県予選において、女子団体戦で北晴奈さん(2-1)、八田遙心さん(2-4)、野中理加さん(1-1)、荒川花歩さん(1-5)のチームが優勝、個人戦で光吉有咲さん(2-5)が第3位に入りました。男子団体戦では、片瀨壮陽くん(1-2)、大賀一正くん(2-5)、山崎功大くん(2-1)、蒲地悠人くん(1-1)のチームが準優勝に輝きました。優勝した女子チームは全国選抜大会への切符を手に入れました。また、30日(日)に行われたバドミントン新人大会団体戦では男子が第3位に入りました。



3 クラス読書会を開催。1年は『弟子』(中島敦)、2年は『武士道』(新渡戸稲造)でした。

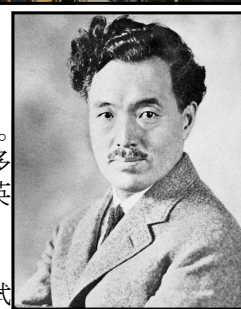
11月8日(火)に、1・2年生は、クラス読書会を行いました。テキストは、1年生が中島敦の『弟子』、2年生が新渡戸稲造の『武士道』でした。中島敦は教科書で必ず学習する『山月記』の著者です。新渡戸稲造はかつて五千円冊の肖像として知られていた人物で、かつての日本人の道徳観念を支えていた日本人固有の精神について分析しています。今回のテキストは『英語と日本語で読む武士道』という英文と日本語で掲載されている本を採用しました。この『武士道』については、個人的にも思い入れの深い本です。大学1年時に「教育概論」の夏休みのレポート宿題として課され、当時は絶版状態で市販されておらず、わざわざ神田の古書街を探し回ってやっと見つけた本(岩波文庫)でした。結局200名程いた受講生の中で探し当ててまでレポートを提出した学生は数名しかいなく、夏休み明けの最初の授業で担当教授が発した第一声が「絶版になっていましたね。宿題はなしにします。」との理不尽な扱いに愕然としたことを今でも覚えています。そんな忘れられない一冊です。



4 今週の名言・・・野口英世の言葉です。

誰よりも三倍、四倍、五倍勉強する者、それが天才だ。

【解説】こちらは千円札のデザインになったことでも知られる偉人で細菌学者の野口英世の言葉です。一般的に「天才」と呼ばれる人を目の当たりにすると「生まれ持ったものが違う」と考える人が多いですが、実際には「天才」と呼ばれるに至るまでの本人の絶え間ない努力によるものだと野口英世は言っています。諦めず努力することの大切さを感じられます。



【野口英世について】日本の医師、細菌学者。学位は医学博士(京都大学)、理学博士(東京大学)。福島県出身。高等小学校を卒業して上京し、済生学舎(日本医科大学の前身)に通い、医術開業試験に合格して医師となった。渡米してペンシルベニア大学医学部の助手を経て、ロックフェラー医学研究所研究員となった。主に細菌学の研究に従事し、黄熱病や梅毒の研究で知られる。数々の論文を発表し、ノーベル生理学・医学賞の授賞候補に三度名前が挙がったが、後にその業績の多くが否定された。黄熱病の研究中に自身も罹患し、1928年5月21日、英領ゴールド・コースト(現在のガーナ共和国)のアクラで51歳で死去。(参考:「Wikipedia」より)

5 今週の話成語・・・「寸鉄人を殺す」【問題】英語で表現すると?

短い刃物で人を刺し殺すの意。短く鋭い言葉で人の急所をつくたとえ。寸鉄人を刺す。(出典:「鶴林玉露」より)



【由来】短いけれども奇抜で適切なことばによって、相手の急所をつくたとえ。警句で、人の急所をつくこと。言葉は使い方によっては両刃の剣とも言える力が潜んでいます。

6 入試によく出る漢字(その56)・・・共通一次(1984年度本試験)に挑戦!

- (1) 社会の突然変異と [ギョウ] 縮された急転的時間の [ギョウ角・春ギョウ・ギョウ績・ギョウ視・苦ギョウ]
- (2) 自分独りだけが [カク] 離された孤独の経験なのであり、[合カク・遠カク・カク新・的カク・カク得]
- (3) 物語られ [ショウ] 華されている経験 [ショウ耗品・ショウ降口・負ショウ者・ショウ却炉・ショウ待席]
- (4) 心身の底深くに注ぎ込まれ [チク] 積されていく。[構チク・駆チク・爆チク・家チク・貯チク]
- (5) 話を聞く際に受け取る抑揚や [イン] 律の知覚、[イン象・婚イン・音イン・福イン・イン果]

7 今週の一冊・・・夏目漱石の『三四郎』(新潮社)です。

熊本の高等学校を卒業して、東京の大学に入学した小川三四郎は、見る物聞く物の総てが目新しい世界の中で、自由気儘な都会の女性里見美禰子に出会い、彼女に強く惹かれてゆく……。青春の一時期中において誰もが経験する、学問、友情、恋愛への不安や戸惑いを、三四郎の恋愛から失恋に至る過程の中に描いて『それから』『門』に続く三部作の序曲をなす作品である。(参考：本書裏表紙説明より)



【解説】『三四郎』・『それから』・『門』と続く、漱石前期三部作の始まりの作品『三四郎』を紹介いたします。冒頭からどきっとするような、ゆきずりの女性との同宿に戸惑う主人公・三四郎の理性的(うぶ)な行動に自らの青春の一コマが蘇ってくるような感懐を覚えた方が多いのではないのでしょうか。昭和世代の質実剛健な世代にとっては、現代の小説とは違い、この小説で描かれる古き良き日本男児の葛藤や戸惑いには共感を覚えます。もしかしたら平成生まれの諸君も今後経験するかもしれない「学問、友情、恋愛への不安や戸惑い」をこの小説で疑似体験しておくといかかもしれません。『それから』・『門』もいずれ紹介いたします。

【作者・夏目漱石について】第26号を参照。

8 世界遺産を巡る・・・第81回はコロームスコエの主の昇天教会(ロシア)(登録：1994年)

【解説】コロームスコエの主の昇天教会は、ロシアの首都モスクワから南東へ15kmほどのところにあります。教会のあるコロームスコエ地区は、イワン4世からピョートル1世の時代まで大公や皇帝の別荘地でした。モスクワ南東部のコロムナ街道の出発点であったことが地区の名の由来です。教会は地区内で最も古い建物で、1532年ヴァシリー3世がイワン4世(雷帝)の誕生を祝って建てました。1925年に地区が野外文化財博物館となります。これにより、ソ連国内の昔の建物はこの地に移築され、周辺の古い建物は保護されることになりました。ロシアの正教会といえば玉ねぎ頭の屋根(クーポラ)ですが、この教会は違います。八角形の屋根が特徴です。基礎が石材と煉瓦、木造の屋根というロシアの昔の木造建築技術で建てられています。1992年に地区一帯が世界遺産へ推薦されましたが見送られ、1996年にヴォズネセーニ教会だけがコロームスコエの主の昇天教会の名で世界遺産として登録されました。(参考：「世界遺産人気ランキング」より)



9 街角グルメを訪ねて・・・第81回は長崎市の「ツル茶ん」です。

隣県・長崎県の情報です。長崎のグルメとして有名なのが「トルコライス」。その「トルコライス」で有名な店の一つ「ツル茶ん」を紹介いたします。老舗の名店で、大正14(1925)年創業の九州最古の喫茶店です。観光客のお目当ては、初代店主が考案した食べるミルクケーキです。「元祖長崎風ミルクケーキ」は、かつては夏の風物詩でしたが、現在は年間を通じて提供されています。定番のトルコライスも大好評です。「トルコライス」とは、ピラフ・ポークカツ・スパゲティが盛りられ、欲張りな方にはワンプレートで大満足のボリュームです。この日は、定番の「トルコライス」(1480円)、「ラムステーキのトルコライス」(1880円)、「ミルクケーキ」(720円)を注文。値段は観光地価格でやや高めですが、トルコライスもミルクケーキも絶品でした。すぐ傍にコインパーキングがあり、ここを利用すると便利です。



10 保護者の皆様へ・・・佐賀育英会の東京学生寮「松濤学舎」をご紹介します。

「松濤学舎」は公益財団法人佐賀育英会が運営している佐賀県出身の男子学生が首都圏の大学に進学するために設置された学生寮です。1924年に渋谷区松濤の旧鍋島藩の地(現在は都知事公舎などもある高級住宅地)に建てられましたが、1970年に現在の小金井市に移転しています。最寄り駅はJR中央線の「武蔵小金井駅」で、駅から徒歩10分の武蔵野の面影を残す自然豊かな閑静な住宅地に建てられています。約30の国公立・私立大学に1時間以内で通学が可能です。寮費は月額42,000円、食費は朝・夕2食で24,000円です。東京都内の家賃の相場(1Kで最低7万~8万かかります)に比してリーズナブルに学生生活を過ごすことができます。東京・神奈川・埼玉の大学への進学を考えている場合はお勧めです。いよいよ令和5年1月からは女子学生の入舎も可能になります。詳細はHP等でご確認ください。



【英語】◇ to make a cutting remark; to kill someone with a short blade ◇ The tongue stings.
◇ The tongue is not steel, yet it cuts.

【正解】(1) 凝縮〔仰角・春暁・業績・凝視・苦行〕 (2) 隔離〔合格・遠隔・革新・的確・獲得〕
(3) 昇華〔消耗品・昇降口・負傷者・焼却炉・招待席〕 (4) 蓄積〔構築・駆逐・爆竹・家畜・貯蓄〕
(5) 韻律〔印象・婚姻・音韻・福音・因果〕